

作陽学園報



くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学 入学式（平成30年4月3日）

目次

■「食」でがんの予防を目指す栄養士養成 学校法人作陽学園 理事長 松田英毅	2頁
■学長補佐新任ご挨拶 学長補佐 松田光恵	2頁
■くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学 ビジョンメッセージ	3頁
■高大接続改革は身近なところから 音楽学部長/大学院音楽研究科長 竹内京子	4頁
■地域の食と健康に貢献する食文化学部 食文化学部長 宮本 拓	4頁
■一荃百華 子ども教育学部長 林 直人	5頁
■音楽専攻、幼児教育専攻とも進路決定率100%を達成 作陽音楽短期大学 音楽学科長 杉山貴義	5頁
■第32回管理栄養士国家試験結果、教員採用試験・公立保育士 採用試験結果	6頁

■SSPPがスタート、大学間包括交流協定の締結	7頁
■真の「明るく、やさしく、たくましい」成長を願って くらしき作陽大学附属認定こども園 園長 妹島三絵	8頁
■「本気」から「本物」へ 岡山県作陽高等学校 校長 野村雅之	8頁
■岡山県作陽高等学校	9頁
■新任教員のご紹介（大学・短期大学・こども園）	10頁
■新任の先生のご紹介（高校）、新任職員、退職・退任された教職員 のご紹介	11頁
■鶴声会だより・翠会だより・作陽高校同窓会だより	12頁
■UNIPA（保護者用）のご案内、教育目的	13頁
■平成29年度決算について	14頁
■演奏会のご案内	15頁



岡山県作陽高等学校 入学式（平成30年4月8日）

「食」でがんの予防を目指す栄養士養成

理事長

まつ だ ひで き
松 田 英 毅

本来なら、学園の近況をご報告するのが学園長の役目ですが、それは各学部長、校長、こども園長におまかせして、今回は、食による一次予防について述べたいと思います。

本年度から、食文化学部現代食文化学科では、一次予防（健康の維持増進）に格段の力を発揮できる栄養士養成を行うことで、栄養士養成施設としての入学定員を50名から80名に増員しました。わが国は、今や生活習慣病になる人が増えています。日本人の2人に1人はがんになり、3人に1人はがんで亡くなる程になっています。国も“健康日本21”をかけた、生活習慣病を無くそうとしていますが、効果が上っているとはいえません。日本は、世界で平均寿命はトップクラスの長寿国といわれていますが、要介護の人が多く、健康寿命は8年ほど短いのです。国の医療費も42兆円を超し、国の財政に影響するほどになり、大きな課題となっています。特に、これから活躍が期待される若い人などが「がんで亡くなった」との訃報を耳にすると、身近な人であればいたまれない思いがします。そのような病気にならないように、食を通して、人びとの健康の維持・増進につとめることが栄養士の最大の使命です。

およそ半世紀前、米国で、心臓病が多くなってアメリ

カ議会で問題になり、肉中心の食習慣を昔の日本食に変えたところ、大いに改善されたとの報告があります。これは、マグガバンレポートと呼ばれています。10年ほど前、植物中心の食習慣が、がん、糖尿病、心臓病などの予防になり、それらの病気の回復にも効果があることを多くの論文と実験データやチャイナプロジェクトと称する中国全土の疫学調査などをもとに書かれた『葬られた「第2のマグガバン報告」』（コリン・キャンベル他著）が発刊されました。この本は、食に対する従来の常識を破るものであり、これからの食のあり方だけでなく、人類のあるべき姿をも示唆しているようにも思われます。

現代は科学技術文明社会であり、その最たるものの一つが医療、薬、遺伝子の研究などにみられ、人間の頭脳の素晴らしさを示しています。著者は、人間の体内での働きは、現代の科学技術以上のものがあり、自然に行われていることを示しています。健康な人の体内では、食物を口にした時から、いろんな化学物質が自然に分泌され、食物を消化し分解して、どんな人工の反応より速く、何千もの化学反応をおこし、生成した物質の必要な量を必要な組織に分配する、というネットワークが働いているのです。これが健康体であれば、普通に自然に行われていることを示しています。人智の及ばない驚異的な働きがなされ、健康が保たれているのです。自然の摂理に沿った食事、生き方こそが一次予防をなすものと思われ、これは広く、深い新しい学問分野に発展するとさえ思われます。

本学では、現代の食習慣を見直し、徹底した一次予防のできる栄養士養成をしたいと考え、今年度より特任教授にその道の専門医の済陽高穂先生を迎え、力を入れて参る所存です。

学長補佐新任ご挨拶

学長補佐

まつ だ みつ え
松 田 光 恵

本年度より学長補佐を拝命致しました松田光恵と申します。作陽学園の伝統に恥じぬよう、誠心誠意努めて参りますのでどうぞ宜しくお願い致します。

さて、ご存知のように私立大学を取り巻く社会状況は年々厳しさを増しております。18歳人口は約10年前か

ら現在まではほぼ横ばいで推移しておりますが、平成33年ごろから再び減少することが予測されております。学生募集環境が極めて厳しくなる中で、当学園においても社会全体の構造の変化を受け止め、迅速で弾力的な対応が求められるところであります。

まずは教職員が一丸となり、学生の利益を考えることが肝要です。教育の質を保証し、しっかりとした人間力を携えた学生を社会に送り出してあげることを第一優先事項と考えます。また地域の中で愛される大学をめざし、作陽の存在意義を増すことに尽力する所存です。若輩者ゆえ、至らぬ点多々あるかと思いますが、皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

ビジョンメッセージの下で、教育への想いをひとつに

ひとの心を動かすひとになる。

ひとの心が動くとき。

そこには必ず、寄り添い、真っすぐに向き合う、
もうひとつの心があります。

そうして生まれた感動、感心、感謝の気持ちは、
やがてまた、他の誰かの心を動かす力になっていく。
私たちは、そう信じています。

感動を与える演奏家。
感性豊かな食のプロ。
五感を大切に育てる教育者。

あなたが選んだその道で、思う存分に心を磨いてください。
ひとの心を動かす、真の知性と感性を養ってください。

あなたの心に、私たちも心で向き合います。



ビジョンメッセージワークショップ

平成 30 年 3 月、2 日間にわたり本学教職員によるワークショップを開催し、くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学のあるべき姿や社会への提供価値を一言であらわす言葉「ビジョンメッセージ」を創り上げました。

1 日目の『インナーワークショップ』では、各学部・学科の教育職員及び事務職員が「本学の強み・価値」を活かして「これから

育てたい人材像」や「全学のありたい姿」を描きました。

2 日目は、『ビジョンメッセージワークショップ』として、本学にふさわしいビジョンメッセージについて様々な案について議論を行い、100 案から 5 案に絞りました。

4 月に行われた全教職員会議で報告があり全教職員による投票と学生の意見も取り入れ、上記のビジョンメッセージを最終決定しました。



高大接続改革は身近なところから

大学院音楽研究科長
音楽学部長

たけうち きょうこ
竹内京子



みなさま、お元気でお過ごしでしょうか。いつも、温かく大きなご支援を賜りまして、ほんとうにありがとうございます。同窓会、各県支部のみなさまにおかれましては、特色あるイベントの企画をはじめ多大なご支援を企画実行していただきまして、感謝に堪えません。この場をお借りして、心より厚く御礼を申し上げます。

新入生もすっかり大学生活に慣れ、伸びやかな楽音や元気な声がキャンパスのあちらこちらから聞こえてまいります。

今年度音楽学部は、作陽高校とのパートナーシップをこれまで以上に強化する目的で高大連携事業 SSPP を始めました。まず第1学期の間は、火曜日に大学教員が高校に出向き、授業を2コマ行いました。第2学期からは高校生が大学キャン

パスで授業を受けることになりましたので、楽しみにしております。(詳細は学園報の7ページ及び作陽高校野村校長ブログをご覧ください)

また、今年度の音楽講習会は、8月、1月を除く毎月第3日曜日の実施となり、一日当たりの受講生数が増加しております。固定の日曜日になったことで、お伝えしやすく、覚えやすくなり、参加に繋がるが多くなったと好評をいただいております。音楽に関する知識を増やしたい、効果的な練習方法を知り技術水準を高めたいなど、多様なニーズにお応えしております一方で、高大接続のための入試改革の要である【学力の3要素】の定着に寄与すべく、講習会の楽典、聴音、コールユンゲンで、単元・範囲を明示し、知識の空白部分が残らないように工夫をしました。これによって、「入学後速やかに学修を上手く軌道に乗せ、2年間あるいは4年間の学びを学生お一人おひとりにとって充実したものにするためのサポート体制(受験前・入学前教育)が充実した」と自信をもって申し上げます。ぜひ音楽講習会をご活用ください。

大学院音楽研究科には、留学生や他大学卒業生も入学され、多彩な研究活動が行われております。音楽を通しての地域貢献活動も定着し活発化している中で、大学院生は地域の牽引役を務めており、今後の研究活動が期待されます。

地域の食と健康に貢献する食文化学部

食文化学部長

みやもと たく
宮本拓



食文化学部は栄養学科と現代食文化学科からなり、豊かな人間性と確かな専門性を備えた管理栄養士、栄養士、栄養教諭、家庭科教諭、フードコーディネーターといった「食のプロ」を養成しています。

栄養学科は、管理栄養士養成課程としての使命を果たすため、国家試験対策の更なる推進に努めています。平成30年3月に実施された第32回管理栄養士国家試験の合格発表が3月30日にあり、74名の受験者が全員合格しました。一昨年度(合格者79名、合格率98.8%)、昨年度(合格者77名、合格率96.3%)と同様に、中四国養成校トップクラスの実績を維持しており、学科設置からの13年間で累計866名の管理栄養士を輩出しています。

一方、現代食文化学科は栄養士養成数の定員増が承認され、

今年度からは全学科生が栄養士の資格取得を目指せる環境になりました。栄養士のための基礎的な学びや食文化に関する専門知識に加え、食育、スポーツ栄養、商品開発、教員免許などに関する科目群を用意し、学生の将来設計に応じて自由度の高いカリキュラムを選択できます。高齢化が進み、健康寿命の延伸がわが国の大きな課題となる中、「食」の専門家に対する社会のニーズは高まっています。病気にかからない食事を提供し、生活習慣病をなくし、人々の健康の維持増進を図ることは、栄養士の使命です。現代食文化学科では、一次予防に貢献できる栄養士教育を実践します。

各学科は、それぞれの特長を発揮しながら、2学科連携のもと、食を通じた健康づくりの啓発活動を地域で積極的に行っています。学内の「さくようヘルスケアレストラン」では、毎週、メニュー作成から大量調理、テーブルコーディネートまで担当して、学生や地域の人たちにおいしくてヘルシーな昼食を提供しています。災害時対応食の学習として、地域住民を招いた炊き出し実習も行っています。また、大型スーパーとのコラボによるレシピ集「1食500kcal 台のバランスメニュー」は今年第3巻を出版し、多くの方々に好評を得ています。

これまでの伝統と実績を継承しつつ、今後も学生の満足度の高い学びを充実させてまいります。皆さまの一層のご支援・ご協力をお願いして、ご挨拶とさせていただきます。

一 茎 百 華

子ども教育学部長

はやし なおと
林 直 人



平成 30 年 3 月 20 日に 7 期生 111 名が巣立っていきました。進路の内訳は小学校教員 15 名、特別支援学校教員 9 名、幼稚園教員 12 名、保育士は 39 名、認定子ども園保育教諭 9 名、社会福祉施設職員 8 名、一般企業職員 17 名、進学 2 名でした。公立ならびに公務員の正規採用者は、実人数 42 名 38%（小学校 10 名、特別支援 8 名、幼稚園 5 名、保育所 15 名、認定子ども園 4 名）と 6 期生（37%）同様好調でした。

子ども教育学部はこれまで①五感を通した教育力の育成 ②地域のフィールド活動と連携した実践力の育成 ③障害児保育から重度・重複障害へと幅広い特別支援教育の展開 ④キャリア教育科目を中心にした 4 年間一貫の就職支援を特色

に取り組んで参りました。

ここでは、本年度新たに取り組む事業を二点紹介したいと思います。

一点目は、小学校教員養成サポート事業「放課後教室 作陽ぶらっつ」の本格稼働です。

これは、長尾小学校の学童保育と連携し、在籍している児童の中で学習支援等を希望する児童 20 名程度を毎週火曜日に 11 号館に来てもらい個別学習支援等を行うものです。これにより小学校教員に求められる実践的指導力、課題解決力、学級経営力等を育成したいと考えています。

二点目は、保育園、幼稚園への就職支援の充実です。

保育園・幼稚園就職対策室を 2 号館 105 室につくり、保幼関係の先生から予約に基づき面接、弾き歌い、論作、造形等についてこれまで以上に支援が受けられるような仕組みをつくりました。

教育の質を保証することは、卒業後の進路を保証することにはなりません。そのためには、系統的な教育課程の整備をさらに進め、これを支える教職員の知恵と熱意によってその実質化を一層図っていききたいと思います。ご支援の程よろしく申し上げます。

音楽専攻、幼児教育専攻とも進路決定率100%を達成

作陽音楽短期大学

音楽学科長

すぎ やま き よし
杉 山 貴 義



作陽音楽短期大学 音楽学科は平成 27 年度から音楽専攻と幼児教育専攻に分離し、今年で 4 年目を迎えました。平成 30 年度は音楽専攻 27 名、幼児教育専攻 26 名、計 53 名の新入生が入学しました。

平成 29 年 3 月には計 55 名の卒業生が巣立っていきましたが、音楽専攻、幼児教育専攻とも進路決定率は 100% を達成しました。

2 年間という短い学修期間の中で、音楽専攻の学生は専修実技の研鑽はもちろん、コンサートへの出演等ステージで活躍しながら進路を決定し、幼児教育専攻の学生は 1 年次には施設実習、2 年次には保育実習、幼稚園実習と期間としては約 2 ヶ月半にわたる実習を経験し、保育士資格、幼稚園教諭二種免許状を取得後、多くの学生が幼児教育の専門職に就いています。また幼児教育専攻では 2 年目にして初めて公務員保育士に合格者を出しました。この学生をはじめ、皆さんよく頑張ってくれたと思います。

さて、今年度私が学生諸君によく言うことは「将来に対し

てビジョンを持とう。」ということです。ついこの間まで高校生だった短大 1 年生には少々酷な要求かもしれませんが、2 年間という短い期間で次のステップに踏み出すにはのんびりしている余裕はありません。社会に出ることを考えている場合、ライバルは大学の 3 年生なのです。

例えば「自衛隊音楽隊に入りたい」「音楽講師になりたい」「保育士になりたい」「幼稚園教諭になりたい」というような具体的なビジョンがあれば、そのビジョンに向かってのプランを立てることが出来、具体的なアクションに繋がります。

ビジョンがなければプランを立てることは出来ず、どのようにアクションしたらよいのか分からないまま、途方に暮れるだけです。

No vision, No plan, No action は避けなければなりません。

作陽学園関係者の皆様、同窓生の皆様、どうか作陽短大生が早い段階でビジョンを持ち、プランを立て、アクション出来るようにご協力、ご支援下さい。我々教職員一同も短大生の未来のために惜しみない支援をして参ります。

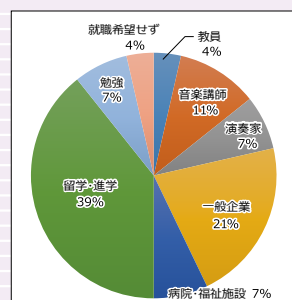


図1 平成29年度 作陽音楽短期大学 音楽専攻 卒業生進路状況 (H30年5月1日現在)

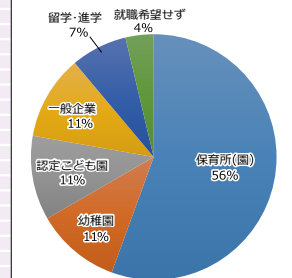


図2 平成29年度 作陽音楽短期大学 幼児教育専攻 卒業生進路状況 (H30年5月1日現在)

くらしき作陽大学 食文化学部 栄養学科

第32回管理栄養士国家試験結果

合格率

100%

中四国管理栄養士養成校トップクラスの実績！

合格者数

74名

平成 30 年 3 月 30 日発表

確かな教育システムの構築で、全国トップクラスの合格実績を誇る。

入学時から4年後の管理栄養士国家試験受験まで、学生一人ひとりが合格に向けて高い意識を保持し続けられるように、徹底した個別対応を行います。弱点を分析し、強力に補い、目標とする合格ラインまで引き上げていきます。



平成 30 年 3 月に実施された第 32 回管理栄養士国家試験で、本学 食文化学部 栄養学科は 74 名の合格者を出しました。

また、本学科では第 20 回（1 期生）～第 32 回（13 期生）*までの 13 年間の累計合格者数が 866 名となりました。

*栄養士法の改正により、第 20 回（平成 17 年度）から受験資格及び試験科目が新しくなりました。



平成 30 年 4 月採用

教員採用試験

・公立保育士採用試験 結果

音楽学部

教員採用試験 合格者 12 名（延べ数）

■岡山県 3 名 ■愛媛県 3 名 ■福岡市 1 名
 ■神戸市 2 名 ■山口県 1 名 ■埼玉県 1 名
 ■札幌市 1 名

食文化学部

栄養教諭採用試験 合格者 4 名（延べ数）

■高知県 1 名 ■愛知県 1 名
 ■埼玉県 1 名 ■北海道 1 名

家庭科教諭採用試験 合格者 1 名

■香川県 1 名

短期大学（幼児教育専攻）

公立保育士・幼稚園教諭・保育教育職採用試験

合格者 2 名

■岡山県矢掛町 1 名 ■広島県三原市 1 名

合格者数

92名

子ども教育学部

公立小学校・特別支援学校教員採用試験

合格者 33 名（延べ数）

■岡山県 17 名 ■愛媛県 2 名 ■横浜市 1 名
 ■岡山市 3 名 ■徳島県 1 名 ■滋賀県 1 名
 ■広島県 2 名 ■島根県 1 名 ■大分県 2 名
 ■香川県 1 名 ■長崎県 2 名

公立保育士・幼稚園教諭・保育教育職採用試験

合格者 40 名（延べ数）

■岡山県岡山市 3 名 ■香川県丸亀市 1 名
 ■岡山県倉敷市 1 名 ■香川県さぬき市 1 名
 ■岡山県赤磐市 1 名 ■香川県三木町 1 名
 ■岡山県吉備中央町 8 名 ■愛媛県上島町 1 名
 ■岡山県矢掛町 4 名 ■愛媛県内子町 1 名
 ■岡山県総社市 1 名 ■愛媛県大洲市 1 名
 ■岡山県高梁市 4 名 ■高知県高知市 1 名
 ■岡山県瀬戸内市 1 名 ■高知県南国市 1 名
 ■岡山県和気町 1 名 ■高知県香美市 1 名
 ■広島県三原市 1 名 ■鳥取県境港市 1 名
 ■広島県広島市 1 名 ■山口県山陽小野田市 1 名
 ■広島県江田島市 1 名 ■宮城県仙台市 1 名
 ■香川県高松市 1 名

岡山県作陽高等学校&くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学

高大連携プロジェクトがスタート！

今年度より『岡山県作陽高等学校&くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学 高大連携プロジェクト<通称SSPP（作陽高校&作陽大学パートナーシッププロジェクト）>』をスタートさせました。このプロジェクトは双方の人的資源を双方の更なる発展のために活用し、系列校としての互惠関係を再構築するものです。加えて相互協力によって生徒の満足度を上げ、進路選択の幅を広げると共に学園内の循環構造の充実にも寄与するものです。まずは竹内京子教授、長瀬敏和教授、菅付章宏教授が普通科ミュージックコース「吹奏楽系」と「演奏芸術系」の生徒に、新名俊樹准教授が「音楽デザイン系」の生徒に火曜日の午後2コマを使って交代で作陽高校に伺い特別授業を実施しています。また、森博文准教授が吹奏楽部金管楽器指導とホルンレッスンを実施しています。第2・3学期は作陽高校生が大学キャンパスに来て授業を受ける計画で進めております。さらに本学で開催される毎月第3日曜日の音楽講習会への参加特典も用意し、充実したレッスン体制も整えていきます。今後にどうぞご期待ください。



くらしき作陽大学とエリザベト音楽大学で大学間包括交流協定を締結しました

くらしき作陽大学とエリザベト音楽大学は大学間包括交流協定「WEST JAPAN ANTIPHONAL ACADEMIC ALLIANCE（通称：WJ-AAA ウェストジャパントリプルエー）」の締結し、4月14日本学藤花楽堂におきまして締結調印式を行いました。

この協定は、音楽大学として長い歴史を持つ両大学の特色や資源を生かして、それぞれにおいて音楽を学ぶ学生が充実した音楽教育を受け、より良い学生生活を送ることができる環境を提供することが第一の目的となっています。両大学共同で行う教育プログラムの開発や学生間交流を通じて、教える側である教職員も切磋琢磨し、教育内容の充実とそれに伴った地域の音楽文化向上を目的とする内容です。

同時に開催した「ESpoir 新人演奏会」では、両大学を今年卒業した方々より選抜された若き音楽家が、卓越した演奏技術を披露しました。「ESpoir 新人演奏会」は、「E」はエリザベト音楽大学、「S」は作陽の頭文字をとり、未来に明るい希望の灯をともしことを目指す演奏会にしたいと考え、新しく新人演奏会「ESpoir」（希望）を立ち上げました。

ESpoir 新人演奏家



大学間包括交流協定締結調印式



真の「明るく、やさしく、たくましい」成長を願って

くらしき作陽大学
附属認定こども園
園長

妹島三絵



新年度を迎え、爽やかな風と光が降り注ぐ園庭で可愛い子どもたちが元気いっぱい駆け回り、楽しそうに遊んでいます。このたび、松田英毅園長の後任としてこども園の園長に就任いたしました。今後とも、どうぞ皆様方の変わらぬご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

園は開園6年目を迎え、今年度は0歳から5歳児までの全園児145名でスタートいたしました。3月17日には、第33回卒園式を挙行し、3期生37名がそれぞれの小学校へ巣立って行きました。これで作陽こども園の卒園児は100名となりました。日頃から当園の保育・教育活動に対しまして温かいご理解とご支援を賜り、ご指導くださいます多くの方々に心から感謝申し上げます。

幼保連携型の作陽こども園では、0歳から5歳児までの乳幼児たちが、それぞれの月齢・年齢に応じて伸び伸びいきいきと遊び、園の特性を活かした高低差のある豊かな自然の中で活動できる様にしています。子ども達にとって、日々の遊びは大切な学びであります。この度の幼保連携型認定こども園教育・保育要領で示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」は幼児教育と小学校教育との接続を強化するためのものであり、共有すべき「幼児教育の核」であります。この10の姿は遊びを通して子ども達の中で一体となって育つものであるため、子ども達が人間形成の基礎を身につけながら逞しく生きていく力を育てていけるように、そして自分の中にある豊かな創造性を引き出して遊べるように遊びの環境を整え準備しています。また、子ども達と一緒に小動物の飼育や野菜の栽培をして動植物の変化や成長、美しさや不思議さに子ども達が気付けるようにしています。豊かな感性と健全な体、たくましい心を育てるために、音楽を聞き、親しみ、五感を働かせ、様々な体験を通して学び成長していけるように、温かい保育と心ある教育をしまいにします。

前園長同様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



「本気」から「本物」へ

岡山県作陽高等学校 校長 野村雅之



「未来に本気なら作陽に決まり」というフレーズは、昨年の作陽高校が中学生向けに作ったポスターに使用した言葉です。このフレーズは「生徒の本気を引き出す」学校であり、そして「本気の夢を描かせる」学校であり、さらに「本気で夢の実現に向かわせる」学校でありたいという思いから生まれた言葉です。

この思いを実現するために、作陽高校は次の3つの本気ポイントを重点的に考えています。

一つ目は「進学指導の作陽」です。本校の国公立、難関私大等への進学実績は、着実に積み上げられてきています。スーパー特進、特進コースの7時間授業に加え、放課後補習の充実、AO入試や各種推薦入試への個別対策は作陽のストロングポイントです。また進学コースを中心にプログレス活動を展開し、基礎学力の補習を行い各種検定の取得を奨励し生徒の将来を考えたプログラムを組んでいます。

二つ目は「音楽の作陽」です。これを再構築するために「くらしき作陽大学」との高大連携を密接にし、より刺激の多い音楽活動ができるような仕組みを作りました。毎週火曜日にはくらしき作陽大学と連携をとり、大学の教授陣による授業を行っていただいています。これは音楽学部がある学園ならではのプログラムです。また音楽デザインではプロ仕様の機材を使用して授業を行っています。中にはプロデビューし、CM等でも活躍している卒業生もいます。「音楽の作陽」の再出発です。

三つ目は「スポーツの作陽」です。全国に「作陽ブランド」を発信するために、スポーツの力は欠かせません。日本全国にさらには世界に「岡山に作陽あり」と名声をとどろかすよう、各部とも日々努力しています。さらに運動部だけではなく文化部でも、吹奏楽部をはじめとして、平成30年度全国大会への切符を手に入れている演劇部の活躍も特筆すべきものです。

また、これらの本気ポイントを中心として生徒が光り輝いている様子を多くの人に知っていただくためにブログやツイッター等のSNSの配信を強化しています。日々更新しますので生徒の「本気」を是非ご覧ください。

人は年齢や経験のあるなしと関係なく「本気」の継続によって「本物」へと成長していきます。我々教職員も「本気で生徒と向き合う」「本気で生徒の将来を考える」「本気で生徒とともに歩んでいく」を実践継続し生徒とともに成長していきます。

念願は
人格を
決定す
継続は
力なり



未来に本気だから“ワンランク上の充実感と満足度”

岡山県作陽高等学校



平成30年度の役職者および部長を紹介します 1年間よろしくお願い致します



教頭
まつもと けんじ
松本 賢治



事務長
おおた とくじ
太田 篤二



教務部長
せきの まさとし
釈野 昌稔



渉外部長
ふじい たかひろ
藤井 崇広



進路指導部長
すぎもと てつや
杉本 哲也



生活指導部長
かわの かずみち
川野 一道



作陽の魅力を紹介します。2017.6-2018.6

部活動の輝かしい活躍



サッカー部(男子)
全国大会ベスト16
中国大会優勝
全国高校総体出場決定



バスケ部(男子)
県大会出場



吹奏楽部
くらしき作陽大学音楽学部との
本格的な高大連携始動
大学教授やプロから直接レッスン



サッカー部(女子)
全国大会準優勝
中国大会優勝
全国高校総体出場決定



バスケ部(女子)
県大会準優勝
中国大会出場



水泳部
県大会優勝
中国大会出場



フットサル部
全国大会連続出場
毎年数名日本代表候補に選出



ソフトテニス部(女子)
県大会連続出場
中国大会出場決定

TOPICS

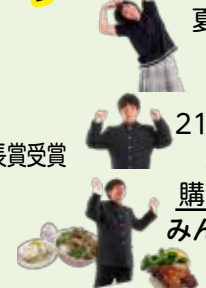
女子制服
夏服ポロシャツ完成



柔道部
全国大会連続出場
中国大会準優勝



演劇部
岡山県高等学校演劇協議会会長賞受賞
2年連続中国大会出場
全国大会出場決定



総合学習(宗教)
21世紀型次世代教育で
人間力を高めます
購買、食堂、大人気！
みんなの食欲がすごい！



ゴルフ部
第3回ユースオリンピック競技大会
日本代表に選出

作陽高校過去9年間の進路実績

その他、詳しい情報＆最新情報は…

作陽高校ホームページ

または、ブログを要チェック!!!



ホームページ



ブログ



Twitter

国公立	
岡山大	9
東京工業大	1
大阪大	2
筑波大	4
横浜国立大	1
東京海洋大	1
大阪府立大	1
大阪教育大	8
京都教育大	1
神戸市外大	1
広島大	1
鳥取大(医)	1
鳥取大	4
香川大	2
高知大	7
島根大	3
岡山県立大	2
防衛大学校	9
総合計	92名

私立大学	
慶應義塾大	3
早稲田大	2
立教大	1
明治大	6
法政大	3
ICU	1
中央大	4
青山学院大	4
日本大	9
東洋大	7
駒澤大	9
専修大	20
東海大	9
拓殖大	2
大東文化大	5
帝京大	7
国士館大	18
日本体育大	4
総合計	127名

■ 新任教員のご紹介（大学・短期大学）



子ども教育学部 専任教授 **田 野 洋 一 郎**

今年度から子ども教育学科に所属しております。児童福祉現場での知識・経験を学生の皆さんにお伝えし、共に学んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



子ども教育学部 専任教授 **吉 岡 さ な え**

乳児保育や障害児保育実践を担当します。保育の重要な役割や、保育のなかで得られる素晴らしい多くの感動ややりがいを学生の皆さんに伝え、一緒に保育の奥深さを学んでいきたいと思ひます。



子ども教育学部 専任教授 **横 山 昌 弘**

「今〇ら」 〇にはどんな文字が入るでしょう。作陽の学生からは「今から」の希望と、「今なら」の決意を感じます。担当は理科ですが、常に挑戦する気持ちを忘れず、学生と共に学び合っていきたいです。



子ども教育学部 専任教授 **大 山 敬 子**

緑と笑顔と音楽に囲まれるくらしき作陽大学にご縁をいただき感謝しています。
声楽、弾き歌い、音楽表現などの授業を担当します。テーマは「幸せな音楽」です。
よろしくお願ひいたします。



食文化学部 助教 **白 黎 明**

人間は其々個性があり、一人ひとりの個性には無限大のパワーや可能性がある。それをいかに引き出し、より良い方向へ導くのは、教える側も教わるも途絶えず学び続ける姿勢で常に努力を積み重ねなければならない。このような信念を貫いて、はじめて教壇にたつ私からご挨拶申し上げます。よろしくお願ひいたします。



短期大学音楽学科 専任講師 **高 杉 睦 子**

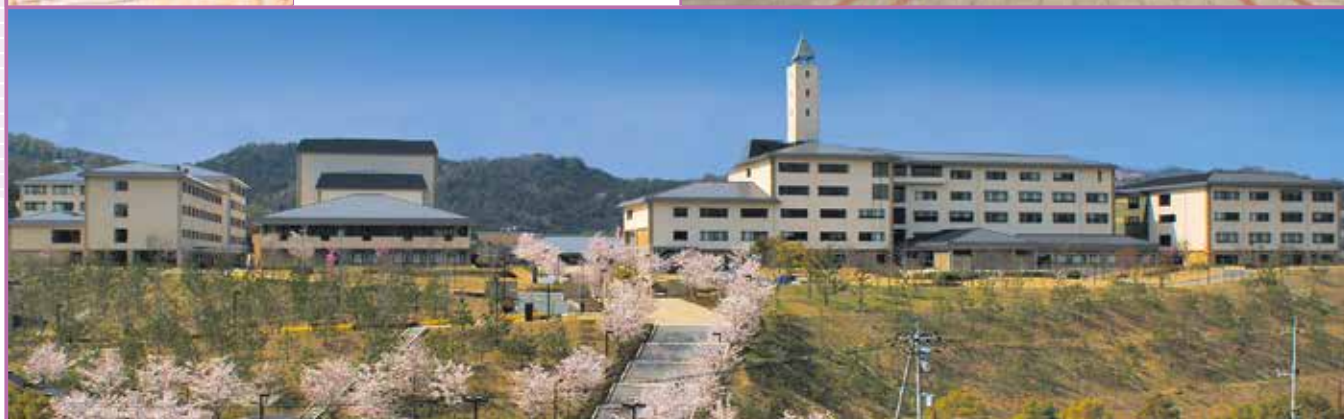
保育実習や保育相談支援等を担当します。保育現場の経験を生かし、保育の楽しさを伝えることを目指します。学びと成長を、共にしていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

■ 新任教員のご紹介（こども園）



認定こども園 保育教諭 **中 野 栄 子**

自然あふれるこども園でどんぐりの若芽のようなこどもたちの成長の一端を担う一員として尽力していきたいと思ひます。



■新任の先生のご紹介（高校）



音 楽 科
常勤講師 **山 口 徹**

これまで、多くの先生方のご指導の下、地域・生徒・保護者の方々が一体となって築き上げてきた作陽高校の歴史や、伝統を感じながら、私も作陽高校の一員として胸を張れるよう、誠心誠意努めて参ります。

音楽講師として、音楽の知識技能はもとより、生徒が1人の人間として成長できるよう教育を推進して行きたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。



家 庭 科
常勤講師 **植 村 早緒理**

大学時代から作陽学園にお世話になっており、この度縁あって作陽高校に就職することができてとてもうれしいです。

新任ということもあり指導者の立場からすれば、まだまだ未熟な部分も多いですが、家庭科の教員として生徒の日常生活がよりよいものになるように役立つような授業づくりをしていきたいと思っています。

また、作陽高校で自分自身も教員として成長できるよう学び続けたいと思います。至らぬ点もあるかと思いますが、自分なりに精一杯努めていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

■新任職員

事 務 局

滝 口 美 穂

高橋万由花(実習助手)

河 本 大 輔 (高校)

棕 梨 里 菜

堀 愛美(実習助手)

稲 田 達 哉 (高校)

森 田 美 紀

■退職・退任された教職員のご紹介（大学・短期大学・高校・こども園）

大 学

音楽学部 森 泰 彦

食文化学部 田 淵 満 子

韓 雲 冬

子ども教育学部 清 水 眞里子

三 宅 嗣 朗

片 岡 加代子

福 井 靖 子

村 上 沙 織

短期大学

平 井 修 二

伊 藤 智

蜂 谷 幸 子

こども園

大 澤 珠 生

河 合 文 菜

田 淵 弘 子

高 校

家庭科 室 崎 有 美

英語科 宗 貴 洋

音楽科 角 南 透

事務長 田 村 暉 子

寮監長 横 山 茂 樹

寮 監 村 下 駿 一

事務職員

藤 井 徹

大 島 都 子

船 石 夏 美

木 口 九萬男

桐谷珠鈴(実習助手)

石賀清志(認定こども園)

大変お世話になりました。

鶴声会だより

あ い さ つ

鶴声会会長 安部 欽也



皆さん、こんにちは。会長2年目となりました8期生の安部欽也と申します。まだまだ手探りの状態ではありますが、皆様のご指導ご支援を頂きながら、微力ではございますが、頑張らせて頂きます。

近年、急速な少子高齢化が進み、労働人口の減少や18歳人口の減少が一段と加速しています。特に、地方大学を取り巻く環境の変化や多様化する社会ニーズにより、大学そのものの舵取りが大変難しい時代になっていると感じています。

さて「作陽」と言えば、これまで音楽大学と認識されてきました。津山時代から夢広がる大学を目指し、情熱を傾けて一所懸命に作陽ブランドを築き上げてこられた諸先生と学生との深い信頼関係。そこで構築された実績とブランド力がありました。我々も、その肩書を心の支えとして多くの演奏家や教員、音楽指導者として全国各地域で自信をもって活躍し

てきました。

現在、くらしき作陽大学は1996年（平成8年）倉敷のキャンパスに移転し、現在は、総合大学として音楽学部のみならず、食文化学部、子ども教育学部の3領域で特色を生かしています。また、これまで培った高い専門性を生かしたカリキュラムによる実践力と人間力を身に付けて、専門分野で地域社会に貢献できる人材の輩出・育成に力を注ぎ、高い評価を頂いております。同窓会として、母校のくらしき作陽大学には今後もより一層、これまで培った作陽の建学の精神と教育理念のもとに、ますますのご発展とご活躍を期待しています。

さて、同窓会ですが、今後の運営及び主催活動内容も社会の流れに対応した枠組みの中で、より身近な同窓会活動等の情報発信を目指して参ります。同窓会は、会員の皆様からの多面的なご意見やご感想をお待ちしていますので、お気軽に鶴声会本部までご連絡ください。今後とも、くらしき作陽大学同窓会・鶴声会活動にご理解・お力添えをお願い申し上げます。

翠会だより

平成29年度 翠会総会並びに懇親会開催

翠会会長 元吉 恵子

平成29年度作陽短期大学・作陽音楽短期大学同窓会(翠会)総会並びに懇親会を去る、11月18日(土)津山鶴山ホテルにおいて開催いたしました。今回は20年ぶりの津山開催ということもあり、予想を大きく上回る約180名(前回の約1.5倍)の卒業生・恩師の先生方が岡山県内はもとより、南は沖縄、東は東京から参加いただき、盛会のうちに終了することができました。

松田英毅学長・理事長をはじめ、お忙しいところご出席くださいました先生方には、心より厚く御礼申し上げます。

任期満了に伴う役員改選も行われ、各支部との連携を図りながら今まで以上に“元気で活発な同窓会”を目指し、役員、幹事一同気持ちも新たにしております。

今回は2年後の開催になりますが、今回にも増して大勢の卒業生の参加をお待ちしております。

最後になりましたが、卒業生のみならずには今後とも引き

続き、短期大学同窓会翠会への変わらぬご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。



作陽高校同窓会だより

岡山県作陽高等学校同窓会事務局

作陽高等学校同窓会会員の皆様には同窓会運営に対し多大なるご厚情をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、毎年行われています同窓会総会並びに懇親会は今年も8月に開催する予定としております。開催案内が届きましたら、ぜひ足をお運びいただければ幸いです。

同窓会からのお知らせとお願いをさせていただきます。

平成28年11月から同窓会HPを開設し、同窓会の活動や作陽高校生の活躍などを掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

また、HPに“がんばってます”という欄を設け、卒業後の同窓生が現在の状況や活躍などについて寄稿してくれたものを掲載しています。

まだ始めたばかりですが、何人かの卒業生に協力してもらっています。

そこで皆様にも卒業後の現在をお知らせくださいますよう

“がんばってます”への協力をいただけることを願っています。

●同窓会 HP <http://sakuyouhs-dousoukai.jp>

次にバナー広告を募集しています。

個人でも会社でも構いませんので、同窓会HPにご協賛いただけるようでしたらご連絡のほどをお願いいたします。

“がんばってます”とバナー広告に関する連絡は下記のメールアドレスまでお願いします。

●同窓会メールアドレス

jimukyoku@sakuyouhs-dousoukai.jp

このことを多くの同窓生に知ってもらうことにより、同窓会の活動が活発になることが大切であると考えておりますので、ご理解とご協力のほどよろしく願いいたします。

UNIVERSAL PASSPORT（保護者用）のご利用について（ご案内）

くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学では、学生の保護者・保証人の皆様を対象とした「UNIVERSAL PASSPORT（保護者用）」（以下「UNIPA」）を開設しています。新入生の保護者の皆様には、入学手続き時に申請いただきました「UNIPA 保護者（保証人）利用に関する申請書」に基づき、ログイン時に必要とされるアカウントを先日送付させていただいております。

UNIPA とは、学生の学修上の情報（成績・単位の修得状況、履修状況等）を WEB 上で閲覧することができる情報提供サービスです。また、今年度より「学生出欠状況」を新たに公開いたしました。是非、このサービスをご利用いただき、ご子息、ご息女の学修状況の把握にお役立てください。

【情報提供項目】

学生の保護者・保証人に対し、情報提供する項目は次のとおりです。

①学生時間割表 ②シラバス照会 ③学生出欠状況 ④成績照会

【お問合せ先】

くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学 事務局 教育支援室

電話番号：086-523-0827（教育支援室代表）

メールアドレス：kyouiku.sakuyo@ksu.ac.jp

ログイン方法

1

くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学のホームページ上部の「在学生・保護者の方へ」から、「UNIVERSAL PASSPORT 保護者の方」をクリックします。



2

UNIPA のログイン画面が表示されます。User ID と Password を入力し「ログイン」をクリックします。

※User ID と Password は数回間違えるとログインが出来なくなりますので、ご注意ください。

くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学の教育目的

■くらしき作陽大学の目的

本学は、大乘仏教に基づく宗教的情操教育により豊かな人間性を涵養するという建学の精神に則り、広く知識を授け深く専門の学芸を教授研究して、心豊かにいきいきと生きる職業人を育成し、学術の中心として社会の発展に寄与することを目的とする。

音楽学部

・音楽学部

建学の精神に基づく人間教育のもとに、音楽に関する質の高い専門性を身につけた心豊かに生きいきと生きる職業人を養成するとともに、国際的な音楽文化の教育研究拠点として社会に貢献することを目的とする。

・音楽学科

国際的な音楽文化の教育研究を通して、音楽に関する豊かな感性と高度な技術とともに、社会性ある音楽家を養成する。

食文化学部

・食文化学部

建学の精神に基づく人間教育のもとに、食に関する質の高い専門性を身につけた心豊かに生きいきと生きる職業人を養成するとともに、食の教育研究拠点として社会に貢献することを目的とする。

・現代食文化学科

食に関する教育研究を通して、食を総合的に学修した食文化に強い心豊かな栄養士ならびに教員等を養成する。

・栄養学科

食と健康に関する教育研究を通して、健全な未来社会を築くために貢献できる心豊かな管理栄養士を養成する。

子ども教育学部

・子ども教育学部

建学の精神に基づく人間教育のもとに、保育と教育及び子育て支援に関する質の高い専門性を身につけた心豊かに生きいきと生きる職業人を養成するとともに、保育と教育及び子育て支援の教育研究拠点として社会に貢献することを目的とする。

・子ども教育学科

保育と教育、子育て支援に関する教育研究を通して、現代の保育・教育現場に求められる高度な専門性と実践力を持った、心豊かな保育・教育等に従事する人材を養成する。

大学院音楽研究科の目的

広い視野に立って音楽に関する清深な学識を授け、地域の音楽文化の向上に貢献することのできる高度な専門性を有する人材を養成することを目的とする。

■作陽音楽短期大学の目的

本学は、大乘仏教に基づく宗教的情操教育により豊かな人間性を涵養するという建学の精神に則り、深く専門の学芸を教授研究して、心豊かにいきいきと生きる職業人を育成し、学術の中心として社会の発展に寄与することを目的とする。

・音楽学科

建学の精神に基づく人間教育のもと、音楽に関する豊かな感性と専門性をもって地域の文化や教育の向上のため心豊かに生きいきと生きる職業人を養成する。

・音楽専攻

音楽文化の教育研究を通して、豊かな感性と高い専門性をもつ心豊かな人材を養成する。

・幼児教育専攻

幼児教育と音楽文化の教育研究を通して、豊かな感性と専門性をもつ心豊かな保育・幼児教育に従事する人材を養成する。

平成29年度決算について

平成29年度決算の概要は以下のとおりです。この決算は、5月29日に
行われた理事会・評議員会の承認を受けたものです。

資金収支計算書

当該会計年度に行った諸活動に対応する全ての資金の動きを記録することによって当該年度の収入と支出の内容を明らかにし支払資金の顛末を表すものです。

【収入の部】

(単位：百万円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	2,080	2,075	5
手数料収入	34	31	3
寄付金収入	99	105	△6
補助金収入	475	464	11
資産売却収入	100	100	0
付随事業・収益事業収入	69	68	1
受取利息・配当金収入	44	47	△3
雑収入	98	121	△23
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	399	373	26
その他の収入	86	86	0
資金収支調整勘定	△446	△475	29
前年度繰越支払資金	5,129	5,129	0
収入の部合計	8,167	8,126	41

【支出の部】

(単位：百万円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,446	1,412	34
教育研究経費支出	480	427	53
管理経費支出	181	160	21
借入金利息支出	0	0	0
借入金返済支出	0	0	0
施設関係支出	226	213	13
設備関係支出	32	35	△3
資産運用支出	100	700	△600
その他の支出	114	118	△4
〔予備費〕	0	0	0
資金支出調整勘定	△82	△292	210
翌年度繰越支払資金	5,671	5,354	317
支出の部合計	8,167	8,126	41

＜資金収支の概要＞

収入の大部分を占める学生生徒等納付金は20億7,500万円。寄付金収入は大学・短大後援会、高等学校PTAからの寄付金など予算比600万円増収の1億500万円。補助金収入は予算比1,100万円減収の4億6,400万円となりました。

一方、主な支出については人件費支出が予算比3,400万円減額の14億1,200万円、教育研究費支出が予算比5,300万円減額の4億2,700万円、管理経費支出が2,100万円減額の1億6,000万円、資産運用支出が有価証券購入により予算比6億円増額の7億円となりました。

貸借対照表

期末（年度末）における資産・負債・基本金および収支差額を把握し、財務状態の健全性を表すものです。

【資産の部】

(単位：百万円)

科 目	平成29年度末	平成28年度末	増 減
固 定 資 産	20,171	19,671	500
有形固定資産	15,372	15,459	△87
土地	5,735	5,733	2
建物	8,756	8,827	△71
構築物	62	72	△10
教育研究用機器備品	74	96	△22
管理用機器備品	15	16	△1
図書	718	712	6
車輛	11	2	9
特定資産	1,872	1,872	0
その他の固定資産	2,928	2,339	589
流 動 資 産	5,480	5,216	264
資産の部合計	25,652	24,886	766

＜貸借対照表の概要＞

（資 産 に つ い て）有形固定資産の建物、構築物、教育研究用機器備品等の減少の主因は減価償却によるものです。

（負 債 に つ い て）固定負債の減少は退職給付引当金の減少を中心としたものです。

（純 資 産 に つ い て）本年度は前年度対比で資産が7億6,600万円増加し、負債が1億2,000万円増加したことにより純資産は244億3,900万円となりました。

事業活動収支計算書

従前の「消費収支計算書」の名称が平成27年度の改正で「事業活動収支計算書」に変更されました。

(単位：百万円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	2,080	2,075	5
手数料	34	31	3
寄付金	94	100	△6
経常費等補助金	475	464	11
付随事業収入	69	68	1
雑収入	98	121	△23
教育活動収入計	2,850	2,860	△10
人件費	1,413	1,334	79
教員人件費	940	906	34
職員人件費	393	375	18
その他人件費	79	52	27
教育研究経費	742	681	61
管理経費	216	193	23
徴収不能額等	1	2	△1
教育活動支出計	2,372	2,210	162
教育活動収支差額	478	650	△172
受取利息・配当金	35	39	△4
その他教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	35	39	△4
借入金等利息	0	0	0
その他教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	35	39	△4
経常収支差額	514	689	△175
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	7	8	△1
特別収入計	7	8	△1
資産処分差額	0	51	△51
その他の特別支出	0	1	△1
特別支出計	0	52	△52
特別収支差額	7	△44	51
〔予備費〕	0		
基本金組入前当年度収支差額	521	645	△124
基本金組入額合計	△258	△12	△246
当年度収支差額	263	633	△370
前年度繰越収支差額	1,512	1,512	0
基本金取崩額	0	63	△63
翌年度繰越収支差額	1,775	2,208	△433
（参考）			
事業活動収入計	2,893	2,907	△14
事業活動支出計	2,372	2,261	111

「事業活動収支計算書」では、経常的な収支のバランスと臨時的な収支のバランスを区分して表示します。

手数料とは、授業料、入学金、教育運営費、実験実習費等の学費収入です。

手数料は、入学検定料、試験料、証明手数料とセンター試験の実施手数料が主なもの。

寄付金には、資金収入の寄付金だけではなく、現物寄付金が含まれます。

経常費等補助金は、国庫補助金、地方公共団体補助金が中心です。

人件費は、教員人件費、職員人件費、退職給付引当金繰入額などです。

教育研究経費は、教育研究活動に必要な消耗品、旅費交通費、光熱水費などのすべての経費です。

管理経費は、教育研究の諸活動に間接的に必要な消耗品等の経費です。

教育活動収支差額は、教育研究活動に必要な人件費、教育研究経費及び管理経費が教育研究活動によって得られた事業活動収入によって回収されていることを示すものです。

教育活動外収支差額は、各種特定資産の運用により生じる特定資産運用収入や、これ以外の預金、貸付金等に係る、受取利息・配当金などで財務活動の収支バランスを示します。

特別収支差額は臨時的な事業活動に係る収支のことです。具体的には、特別収入としては、資産売却差額、施設設備寄付金、現物寄付、施設設備補助金、過年度修正額などが該当します。また、特別支出としては、資産処分差額、災害損失、過年度修正額などが該当し、臨時的な収支バランスを示します。

基本金は、学校法人がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に維持するために事業活動収入から組み入れるもので、①取得した固定資産の価額、②計画に則って将来の固定資産の取得に充てる額、③基金として保持し、その運用果実をもって事業を行う金銭等の額、④学校法人が円滑に運営されるために恒常的に保持すべき額の4つがあります。固定資産の取得や除却、計画の変更などによりこの基本金の額に変更が生じた場合にそれぞれ「組入額」「取崩額」として示しています。

＜事業活動収支の概要＞

事業活動収入の大部分を占める学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金等の教育活動収入の合計が予算に対して1,000万円の増収となりました。また、事業活動支出の大部分を占める人件費、教育研究経費、管理経費等の教育活動支出の合計は予算に対して1億6,200万円の減額となりました。よって教育活動収支差額は6億5,000万円の収入超過となりました。

事業活動全体では事業活動収入が29億700万円、事業活動支出が22億6,100万円となり基本金組入前当年度収支差額は6億4,500万円の収入超過となりました。また、当年度収支差額は6億3,300万円の収入超過となりました。

【負債の部】

(単位：百万円)

科 目	平成29年度末	平成28年度末	増 減
固 定 負 債	553	625	△72
流 動 負 債	660	468	192
負債の部合計	1,213	1,093	120

【純資産の部】

(単位：百万円)

科 目	平成29年度末	平成28年度末	増 減
基 本 金	22,231	22,282	△51
第 1 号 基 本 金	22,029	22,079	△50
第 3 号 基 本 金	30	30	0
第 4 号 基 本 金	172	172	0
繰越収支差額	2,208	1,512	696
翌年度繰越収支差額	2,208	1,512	696
純資産の部合計	24,439	23,794	645

【負債及び純資産の部合計】

(単位：百万円)

科 目	平成29年度末	平成28年度末	増 減
負債及び純資産の部合計	25,652	24,886	766

※ 表示された数値以下の端数は個々に四捨五入してあるので、合計欄の数値と一致しない場合があります。

演奏会のご案内

7

月

JULY

- 6日(金) さくようpops吹奏楽の日**
(開演) 19:00
■ポップス曲を中心とした吹奏楽演奏会
■会場：藤花楽堂 ■入場料：無料
- 7日(土) ヒタヤンクコンサート②(音楽貢献実践)**
(開演) 12:30
■音楽貢献実践履修生による、ピアノソロ、連弾、管楽器とピアノなどによる多彩なプログラム
■会場：玉島市民交流センター 交流棟ロビー ■入場料：無料
- 17日(火) ヴォーカル・サマーコンサート 2018**
(開演) 18:30
■声楽専修生によるガラコンサート形式の演奏会
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 18日(水) モスクワ音楽院特別演奏コース前期学内公開演奏会IV**
(開演) 18:30
■モスクワ音楽院特別演奏コース在学学生による演奏会
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 19日(木) 作陽弦楽合奏団演奏会**
(開演) 18:30
■作陽弦楽合奏団による演奏会
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 20日(金) 「作品のタベ」～作曲専修生と教員による～**
(開演) 18:30
■作曲専修生と本学教員の作品発表会
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 24日(火) 室内楽(Pf)研究発表会「Piano Duo Summer Concert」**
(開演) 18:45
■室内楽(ピアノ)履修者による、連弾、2台ピアノの演奏会
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 26日(木) ピアノ伴奏演習II 研究発表会**
(開演) 18:45
■ピアノ伴奏曲の他、声楽や管楽器の伴奏を演習によって内容を高めた成果として発表
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料

8

月

AUGUST

- 6日(月) 大学院サマーコンサート**
(開演) 14:00
■大学院生による演奏会
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料

9

月

SEPTEMBER

- 7日(金) 作陽音楽短期大学演奏会**
(開演) 18:30
■作陽音楽短期大学在学、教員による、アンサンブル、吹奏楽等の演奏会
■会場：藤花楽堂 ■入場料：500円
- 24日(月・祝) 2018作陽ファカルティコンサートI
竹内京子・居川寛子 ピアノソロ・デュオのタベ**
(開演) 18:45
■竹内京子教授と居川寛子講師によるピアノソロ・デュオによる演奏会
■会場：藤花楽堂 ■入場料：一般2,500円(当日3,000円) 高校生以下無料

10

月

OCTOBER

- 3日(水) 平成30年度 特待生コンサート(1,2年生)**
(開演) 18:45
■特待生(1,2年生)によるコンサート
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 9日(火) 2018作陽ファカルティコンサートII
重利和徳 ピアノリサイタル**
(開演) 19:00
■重利和徳講師によるピアノリサイタル
■会場：聖徳殿 ■入場料：一般2,500円(当日3,000円) 高校生以下無料
- 10日(水) 平成30年度 特待生コンサート(3,4年生)&コンクール入賞者コンサート**
(開演) 18:45
■特待生(3,4年生)、コンクール入賞者によるコンサート
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 18日(木) ヤングコンサート(音楽貢献実践)**
(開演) 12:30
■音楽貢献実践履修生による、ピアノソロ、連弾、管楽器とピアノなどによる多彩なプログラム
■会場：玉島市民交流センター 交流棟ロビー ■入場料：無料
- 24日(水) モスクワ音楽院特別演奏コース後期学内公開演奏会I**
(開演) 18:30
■モスクワ音楽院特別演奏コース在学学生による演奏会
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料

11

月

NOVEMBER

- 6日(火) Music Gallery 2018**
(開演) 18:45
■電子オルガンを中心とする、ソロ・アンサンブルの演奏会
■会場：1号館125室 ■入場料：無料
- 11日(日) さくよう吹奏楽の日**
(開演) 14:00
■教育系・演奏系吹奏楽履修生による吹奏楽研究発表会およびマーチングバンド
■会場：藤花楽堂 ■入場料：500円
- 13日(火) 大学院オータムコンサート**
(開演) 18:45
■大学院生有志による演奏会
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 14日(水) モスクワ音楽院特別演奏コース後期学内公開演奏会II**
(開演) 18:30
■モスクワ音楽院特別演奏コース在学学生による演奏会
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 25日(日) 作陽JWAこども吹奏楽団 第9回定期演奏会**
(開演) 14:00
■作陽JWAこども吹奏楽団による定期演奏会
■会場：藤花楽堂 ■入場料：500円
- 28日(水) モスクワ音楽院特別演奏コース後期学内公開演奏会III**
(開演) 18:30
■モスクワ音楽院特別演奏コース在学学生による演奏会
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 29日(木) ヤングコンサート(音楽貢献実践)**
(開演) 12:30
■音楽貢献実践履修生による、ピアノソロ、連弾、管楽器とピアノなどによる多彩なプログラム
■会場：玉島市民交流センター 交流棟ロビー ■入場料：無料

《お問い合わせ先》

くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学

演奏芸術センター086-523-0822 FAX.086-436-0283

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3515

くらしき作陽大学

検索



都合により日程、出演者等、内容が変更になる場合がございます。最新情報は電話又は大学ホームページにてご確認ください。

12

月

DECEMBER

- 2日(日) 管弦楽研究発表会**
(開演) 14:00
■チャイコフスキー「幻想序曲ロミオとジュリエット」、ピアノ協奏曲第一番口短調
交響曲第4番短調作品36
■会場：藤花楽堂 ■入場料：1,500円
- 8日(土) 第31回 日本伝統芸能・邦楽演奏会 さくよう歌舞座**
(開演) 14:30
■邦楽専修生による研究発表会
■会場：藤花楽堂 ■入場料：500円
- 9日(日) オペラ演習研究発表会**
(開演) 14:00
■モーツァルト「魔笛」(短縮版)日本語上演
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 16日(日) クリスマスヤングコンサート①(音楽貢献実践)**
(開演) 12:30
■音楽貢献実践履修生による、ピアノソロ、連弾、管楽器とピアノなどによる多彩なプログラム
■会場：玉島市民交流センター 交流棟ロビー ■入場料：無料
- 19日(水) モスクワ音楽院特別演奏コース後期学内公開演奏会IV**
(開演) 18:30
■モスクワ音楽院特別演奏コース在学学生による演奏会
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 24日(月・祝) クリスマスヤングコンサート②(音楽貢献実践)**
(開演) 12:30
■音楽貢献実践履修生による、ピアノソロ、連弾、管楽器とピアノなどによる多彩なプログラム
■会場：玉島市民交流センター 交流棟ロビー ■入場料：無料

1

月

JANUARY

- 11日(金) 第13回 音楽デザイン専修作品発表会「ミライヘントビラ」**
(開演) 18:45
■音楽デザイン専修生によるオリジナルミュージックビデオ作品発表会
■会場：藤花楽堂スタジオ ■入場料：無料
- 11日(金) 金管合奏研究発表会**
(開演) 18:45
■金管合奏履修生による研究発表会
■会場：藤花楽堂 ■入場料：無料
- 12日(土) 室内楽(打楽器)研究発表会
第46回 作陽パーカッショングループコンサート**
(開演) 16:00
■室内楽(打楽器)履修生による打楽器を中心とした、打楽器アンサンブル曲の研究発表会
■会場：藤花楽堂 ■入場料：500円
- 13日(日) ヤングホールコンサート(音楽貢献実践)**
(開演) 12:30
■音楽貢献実践履修生による、ピアノソロ、連弾、管楽器とピアノなどによる多彩なプログラム
■会場：玉島市民交流センター 演ホール ■入場料：無料
- 14日(月・祝) 作陽弦楽合奏団演奏会 ～ニューイヤークンサート～**
(開演) 14:00
■作陽弦楽合奏団による演奏会
■会場：藤花楽堂 ■入場料：無料
- 16日(水) 合唱研究発表会「コラール コンサート」**
(開演) 18:30
■合唱履修生による研究発表会
■会場：藤花楽堂 ■入場料：無料
- 22日(火) 室内楽(Pf)研究発表会「Piano Duo Winter Concert」**
(開演) 18:45
■室内楽(ピアノ)履修者による、連弾、2台ピアノの演奏会
■会場：聖徳殿 ■入場料：無料
- 24日(木) ピアノ伴奏演習II 研究発表会**
(開演) 18:45
■ピアノ伴奏曲の他、声楽や管楽器の伴奏を演習によって内容を高めた成果として発表
■会場：1号館125室 ■入場料：無料
- 26日(土) 2018作陽ファカルティコンサートIII
長瀬敏和 サクソフォニリサイタル**
(開演) 14:00
■長瀬敏和教授によるサクソフォニリサイタル
■会場：聖徳殿 ■入場料：一般2,500円(当日3,000円) 高校生以下無料

2

月

FEBRUARY

- 8日(金) 大学院ハープリサイタル**
(開演) 13:00
■大学院生によるハープリサイタル
■会場：藤花楽堂 ■入場料：無料
- 10日(日) ピアノフェスティバル**
(開演) 未定
■ピアノソロ、アンサンブルによる多彩なプログラム
■会場：1号館125室 ■入場料：無料
- 11日(月・祝) くらしき作陽大学ウィンド・フィルハーモニー 特別演奏会**
(開演) 14:00
■宮川彬良氏(舞台音楽家・作曲家)指揮による吹奏楽演奏会
■会場：藤花楽堂
■入場料：一般2,500円 大学生1,000円 高校生以下500円(当日500円増)
- 22日(金) 2018作陽ファカルティコンサートIV
土居里江 ピアノリサイタル**
(開演) 19:00
■土居里江准教授によるピアノリサイタル
■会場：聖徳殿 ■入場料：一般2,500円(当日3,000円) 高校生以下無料
- 23日(土) 大学院修了演奏会**
(開演) 未定
■大学院生による修了演奏会
■会場：藤花楽堂 ■入場料：無料
- 24日(日) 大学院修了演奏会**
(開演) 未定
■大学院生による修了演奏会
■会場：藤花楽堂 ■入場料：無料
- 24日(日) ひなまつりヤングコンサート①(音楽貢献実践)**
(開演) 12:30
■音楽貢献実践履修生による、ピアノソロ、連弾、管楽器とピアノなどによる多彩なプログラム
■会場：玉島市民交流センター 交流棟ロビー ■入場料：無料

3

月

MARCH

- 2日(土) ひなまつりヤングコンサート②(音楽貢献実践)**
(開演) 12:30
■音楽貢献実践履修生による、ピアノソロ、連弾、管楽器とピアノなどによる多彩なプログラム
■会場：玉島市民交流センター 交流棟ロビー ■入場料：無料
- 9日(土) 平成30年度 卒業・修了演奏会**
(開演) 13:00
■平成30年度に卒業・修了する優秀者による演奏会
■会場：藤花楽堂 ■入場料：無料
- 10日(日) 平成30年度 卒業・修了演奏会**
(開演) 13:00
■平成30年度に卒業・修了する優秀者による演奏会
■会場：藤花楽堂 ■入場料：無料

メールマガジン配信開始!

くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学の QRコードで簡単登録!
演奏会・公開講座等の最新のイベント情報やお得な情報をいち早くお届けします。

SAKUYOメルマガ会員募集中

PCからはこちら▶ <https://j.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=sakuyokikaku>

◎ 気になる施設の見学や体験授業で、大学の雰囲気を知らるチャンス

Open Campus 7/21^[土]・22^[日] 8/25^[土] 9/22^[土] 2018 要予約

※開催時間は日程により異なります。

JR新倉敷駅北口より無料送迎バスを随時運行します。

◎ 音大入試の傾向と対策を指導(対象:中学生以上)

作陽音楽講習会 要予約 要参加費 [音楽学部/短大 音楽専攻]

9/16^[日] 10/21^[日] 11/18^[日] 12/16^[日] 2/17^[日] 3/17^[日]

◎ 進学を考えている分野の授業・実習を体験できる(対象:高校生)

オープンセミナー 要予約

- ☐ 食文化学部 現代食文化学科
- ☐ 子ども教育学部 子ども教育学科
- ☐ 短大 幼児教育専攻

食物・栄養分野、保育・教育分野の60分の授業・実習を開講 ※詳細は大学ホームページにてご確認ください。

[会場] くらしき作陽大学 / 作陽音楽短期大学

資料請求
お申し込みは



フリーアクセスで申し込む
0120-911-394



Eメールで申し込む
nyushi.sakuyo@ksu.ac.jp



ホームページから申し込む

くらしき作陽大学

検索

くらしき作陽大学

作陽音楽短期大学



2018 Open School 作陽の魅力



第1回OS	本物に出会おう	7/29(日) 9:00~	●作陽パフォーマンス ●スペシャルゲストによる教育講演会 ●S特・特進説明交流会 ●部活動フェスティバル 他	
第2回OS	魅力を体験しよう	10/28(日) 9:00~	●H31生徒募集要項の説明 ●講座選択(希望コースの説明と実習体験) ●個別進学相談会 他	
第3回OS	入試に備えよう	11/23(祝) 9:00~	●入試問題作成者による入試問題対策講座 ●面接官による個人面談攻略のポイント ●個人進学相談会 他	
清陵祭	文化の部	9/2(日)	体育の部	9/4(火)
保護者対象個別進学相談会		11/3(祝) 9:00~	●選抜入試について(内容やボーダーについて) ●学納金について ●入寮について ●学校生活について 心配な点を解決しましょう	

第1回 OS 教育講演会のスペシャルゲストは、日本テレビアナウンサーの田中毅氏に決定いたしました。
参加者多数の場合は、参加申込みいただいた方が優先となります。詳しくは、HP・作陽ブログをご覧ください。

Sakuyo-Familyの皆様へ 作陽高校選抜入試への出願、そしてご入学をお待ちしております。



3940 未来に本気だから“ワンランク上の充実感と満足度”

岡山県作陽高等学校



0868-23-2188



0868-24-7802



sakuyo@sakuyo-h.ed.jp

HP

作陽ブログ

Twitter



学園報に関するお問い合わせは

作陽学園事務局

学園報担当 (企画広報)

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3515
tel 086-523-0822 / fax 086-436-0283
Eメール sakuyo.kikaku@ksu.ac.jp